

会議名	芦屋港活性化推進委員会 令和3年度第2回（書面開催）			
日時	令和3年9月30日（木）			
件名・議題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芦屋港及び周辺機能等の活性化における調査検討経過について ・ 物流機能集約事業（県事業）の検討経過について 			
委員	委員長	内田 晃		片山 和夫
	副委員長	小島 治幸		山田 寛
		横尾 武志		中西 隆雄
		松岡 泉		河村 拓磨
		萩原 洋子		重岡 裕馬
		小田 武人		安増 雅史
		林 和司		北 陽一
		植木 昭光		後藤 了輔
		龍 啓明		小田 昭裕
		竹下 暁		須河内 美紀
合意・決定事項	<p>○芦屋港及び周辺機能等の活性化における調査検討経過について、書面による報告をおこなった。</p> <p>○物流機能集約事業（県事業）の検討経過について、書面による報告をおこない、委員からの意見を聴取した。</p>			

芦屋港活性化推進委員会（書面開催） 記録

1 芦屋港及び周辺機能等の活性化における調査検討経過について

■芦屋港及び周辺機能等の活性化における調査検討の経過について、書面による報告を行った。

2 物流機能集約事業（県事業）の検討経過について

■物流機能集約事業（県事業）の検討経過について、書面による報告を行った。また、各委員からの意見概要を次のとおりまとめる。

○芦屋海岸と物流施設内からの飛砂対策及び景観的に少しでも良好な環境となるように既存施設と同様に、施設周りに可能な限り植樹をして緑の壁を作ることを希望する。

○施設配置について、商業賑わい・観光集客ゾーンと物流ゾーンを分けるなど、港を核として地域活性化を目指す良案と拝察する。また、飛砂対策として防砂フェンスが設置されるなど、利用面にも配慮されたものと拝察する。今後、防砂フェンスに地元の小学生に絵を描いてもらうなど、地元の人々に親しみを持ってもらえる取り組みに配慮してもらいたい。

○施設整備については、今後の利活用を考慮して、十分な検討をしてもらいたい。

○防砂フェンスで仕切ると景観や飛砂の問題があるので、境界を樹木ですることができないか検討してもらいたい。

○芦屋港周辺は、冬季の風が強く飛砂が懸念されることから、フェンスの高さや仕様等、飛砂対策に十分取り組んでももらいたい。

○物流機能集約事業については、飛砂対策に十分配慮したうえで進めてもらいたい。

■事務局より

物流機能集約事業（県事業）については、福岡県より現段階での資料提供がありましたので、報告をさせていただいた次第です。今回ご報告した防砂フェンスは、飛砂防止や物流事業者の業務上支障がないことなどを優先し、検討を重ねた結果の提案となっています。

今回皆様からいただきました意見をもとに、芦屋町にて考え方を整理したうえで、福岡県と協議調整を図って参ります。また、遠賀漁業協同組合芦屋支所や周辺地域の方への説明の機会を設けるよう依頼して参ります。